

仏事コーディネーター 資格取得者を訪ねて

BUTSUJI-COORDINATOR

……池田大仏堂(金沢市)……

「分かっていないことが分かる」

東本泰和氏

金沢の池田大仏堂に勤務する東本泰和さんは元々大手ローソクメーカーの社員だったが、七年前に退職し、求人で池田大仏堂に入社した。東本さんは昭和四十六年生

まれの四十二歳なので、三十歳代半ばで池田大仏堂に入社したことになった。ローソクメーカーに務めてはいたが、入社時に仏壇の知識はほとんど無

かったし、仏壇業界の事も知らず、仏壇製造に様々な工程があることも知らなかったと東本さんは当時を振り返る。

入社してしばらくは仏壇を運ぶ仕事を中心で、

「仏壇を傷つけないで運ぶこと」に注意を払い、職人さん回りをすることで仏壇のことを少しずつ学んで行った。

また、店頭ではお線香やローソクを販売することとで、池田大仏堂に来られるお客様にも馴染んで行く。

仏事コーディネーター資格試験を受けたのは二年前のこと。池田典明社長から受験の半年前に勧められたことがきっかけで、実際にテキストの『仏壇仏具ガイダンス』を読み始めたのは試験の三ヶ月前からだった。

勉強を始めたことで「仏壇の正しい流れ、宗派のことが分かるようになった。テキストを読むことで、分かっていないことが分かるようになった」と東本さんはこれ

逆になつた」と東本さんは語る。そして実際の試験では「講義があったので助かった」と振り返る。

仕事をしていて喜びを感じるのには「納品後にお客様から言葉掛けて頂いた時」と東本さんは言う。先日も念珠直しでお客様からお礼の言葉を掛けて頂いた時、金欄座布団をお買い上げのお客様から「ちよつとずつのおつきあいだけど、これからはよろしく」と声を掛けて頂き嬉しかったと言

う。

逆に心配になるのが仏壇をお持ちのお客様が、将来にわたって仏壇のお祀りを継承して頂けるかどうか、ということ。

金沢での仏壇販売の最前線で、東本さんはこれからも活躍して行く。



東本泰和氏「お客様との長く続く関係を大切にして行きたい」(池田大仏堂)



店舗外観(池田大仏堂)